



沖縄都市モノレールが昨年八月十日に開業して以来、早いもので今月で八カ月目を迎えます。これまでご乗車頂いた方々並びに御支援いただいた沖縄総合事務局を始めとする官公庁等機関及び関係企業の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

沖縄都市モノレール株式会社に おきましては、開業前及び開業後これまで安定的な利用客の確保のため、あらゆる利用促進策を展開してまいりました。最近の例を申し上げますと、沖縄総合事務局、県庁、那覇市役所など官公庁、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県市議会議長会、沖縄県町村議長会、沿線の企業等、自衛隊、米国総領事や県内主要企業に私をはじめと

## 「歩いて、乗って育てよう 県民の財産」

する常勤役員が直接訪問し、通勤・通学・出張その他の機会にモノレールを積極的に利用していただけをお願いいたしました。

また、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県市議会議長会、沖縄県町村議長会におきましては、定例会の場をお借りしまして、那覇市はもとより、那覇市から遠方にある中北部や離島の市町村長及び各市町村議会議長の方々に對しましてモノレールの幅広い利用についてご協力をお願いいたしました。

訪問要請した官公庁や企業等におかれましては、公共交通機関としてのモノレールの導入趣旨をよくご理解いただき、既にモノレールを対象にした通勤制度の確立、出張や業務におけるモノレールの利用を積極的に働きかけているところもあり、今後そういう企業等が増えることを期待しております。

また先日、沖縄都市モノレールと船車券契約を結んでいる県内外の旅行社と業務提携会議を開催して、今後の利用促進について幅広い意見や御提言を頂きました。今

後はそういった意見や提言を更なる利用促進に生かすため、旅行社との連携を強化する所存であります。

（※船車券契約……旅行社の発行するクーポンにより沖縄都市モノレールを利用できるようにするため、沖縄都市モノレールと旅行社が結んだ契約）

ここで、沖縄都市モノレールの利用状況を説明します。昨年八月開業後しばらくは当初予測を大幅に上回る利用客数（八月及び九月については、一度は乗ってみようというお客様及び本土からの観光客が季節的に多かった等が要因で利用客が多かった。）で推移しておりました。しかしながら十月以降は利用客が落ち込み、昨今の一日当たり利用客数は当初の需要予測を下回り、二月末の時点で八月からの一日平均利用客数は遂に当初予測を下回りました。

利用客が低迷している要因は、季節的に観光客が少ないことやバスとの結節の問題等さまざまな要因がありますが、やはり一番大きな要因は自家用車からの転換がう

まくいっていないことだと思えます。しかしながら、最近では二十分前後は駅まで歩いてモノレールを利用するお客様や家族の送迎（駅まで）によりモノレールを利用しているお客様が増えつつあると聞いておりますので、公共交通機関としてのモノレール導入の趣旨について県民の皆様の幅広いご理解が得られれば、自家用車からの転換も大いに進むと確信しております。

沖縄都市モノレールにおきましては、国、沖縄県、那覇市と一体となり、今後とも経営健全に向け、努力する所存でありますので、県民の皆様におかれましては今後のご理解及びご協力をよろしく願います。

みんなで育てよう

県民の財産

ゆいレールの延伸は、

県民の利用次第